

## ○和光市図書館資料の寄贈等に関する要綱

平成27年3月26日

教委告示第4号

改正 平成31年4月1日教委告示第5号

(趣旨)

第1条 この告示は、和光市図書館管理運営規則（平成4年教委規則第2号。以下「規則」という。）第19条に規定する図書館資料の寄贈（以下「寄贈」という。）及び規則第20条に規定する図書館資料の寄託（以下「寄託」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この告示において使用する用語は、規則において使用する用語の例による。

(寄贈等の基準)

第3条 教育委員会が寄贈又は寄託（以下「寄贈等」という。）を受ける資料は、次の各号のいずれにも該当しないものとする。

- (1) 和光市図書館資料収集方針に適合しないもの
- (2) 発行後1年を経過したもの（著作者が市在住者又は市出身者であるもの、及び郷土資料、地方行政資料その他これらに類するものを除く。）
- (3) 汚損、破損又は書き込み等により図書館資料としての利用に堪えないもの
- (4) 図書館が利用者の利用に供するのに必要な数を既に所蔵しているもの
- (5) 視聴覚資料（図書館資料として利用することが著作権法（昭和45年法律第48号）に違反しないものを除く。）
- (6) 教科書、各種試験参考書、新聞、カタログ、パンフレット、ポスターその他これらに類するもの
- (7) 全集の一部であるもの
- (8) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が寄贈等を受けることが適当でないとするもの

(寄贈等の申出等)

第4条 寄贈等をしようとする者は、寄贈（寄託）申出書（様式第1号）に寄贈等をしようとする資料を添えて、教育委員会に申し出るものとする。ただし、寄贈の場合で、寄贈をしようとする者が希望するとき又は図書館に設置されている寄贈ボックス（資料を投函することにより当該資料の寄贈を行うことができる箱をいう。以下同じ。）を利用するときは、寄贈（寄託）申出書の提出を省略することができる。

2 教育委員会は、前項の規定による申出（以下「申出」という。）があった場合（寄贈ボックスによる寄贈の場合を含む。）は、当該申出に係る資料が前条に規定する寄贈等の基準（次項において「寄贈等基準」という。）に適合するかどうかを審査し、適合すると認めたときは、当該資料の寄贈等を受けるものとする。

3 教育委員会は、前項の規定による審査により寄贈等基準に適合しないと認めた資料については、寄贈の場合にあっては、その取扱いを教育委員会に一任されたものとみなし、当該資料の譲受けを希望する利用者は無償で譲渡し、又は廃棄し、寄託の場合にあっては、当該資料の申出をした者に返還するものとする。

4 教育委員会は、第2項の規定により資料の寄贈等を受けたときは、当該資料の申出をした者に寄贈資料等受領書（様式第2号）を交付するものとする。ただし、寄贈ボックスによる寄贈の場合は、この限りでない。

(寄贈資料等)

第5条 前条第2項の規定により寄贈を受けた資料は、いかなる場合においてもこれを返還しない。

2 教育委員会は、前条第2項の規定により寄託を受けた資料の当該寄託の期間が終了したときは、速やかに返還するものとする。

(委任)

第6条 この告示に定めるもののほか、寄贈等に関し必要な事項は、図書館長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、平成27年4月1日から施行する。  
(和光市図書館資料寄贈取り扱いに関する要綱の廃止)
- 2 和光市図書館資料寄贈取り扱いに関する要綱（平成3年教委告示）は、廃止する。

附 則（平成31年教委告示第5号）

この告示は、公布の日から施行する。